

## 【プロデューサー城之内ミサ氏より】

### Rumeena ～ 光の差し込む“希望の声”

Rumeena がまだ高校生の頃だったと思う。

ユネスコ公式ソングである『Peace of mind』の英語バージョンを歌ってくださったときのことを  
今でも鮮明に覚えている。

空港でのコンサートのため、人の往来の中での公開リハーサル中でのことだった。

「Wide and blue sky Eternal light～」という歌い出しを聴いた瞬間、彼女の神々しい歌声は  
周りの景色を一瞬にして永遠に輝く果てしない青空の情景に変え

私も奏者達も、思わず演奏の手を止めてしまう程だった。

そう、それはまるで、映画「ショーシャンクの空に」のワンシーンのようだった。

荒んだ刑務所の生活の中、とあることがきっかけで突然流れて来た美しい歌声に耳を傾ける囚人達。

「これが何の歌かは知らないが、豊かな歌声が我々の頭上に優しく響き渡った。

美しい鳥が塀を飛び越えていくようだった。短い時間だったが皆が自由な気分を味わった」。

空を仰ぎ見ながら、彼らが希望の光を見た瞬間。

確か、そんなシーンだった。

Rumeena はインドと日本のダブルで、そのために子供の頃は辛いこともあったようだった。

でも、その心の傷は人への優しさと生きる為の芯の強さへと導いた。

きっと Rumeena の歌声は人々を分け隔てなく癒し、国境や文化、人種の壁を飛び越え  
光り輝く鳥の翼のように自由に羽ばたいていくことだろう。

クラシカル・クロスオーバーシンガーとして世界中で活躍してほしいと願っている。

音楽家・ユネスコ平和芸術家 城之内ミサ



プロデューサーも絶賛する歌声と  
松田聖子等のアレンジも手がけている作編曲家で  
ジャズピアニストの信田かずお氏とのコラボレーションにより  
多彩な音楽観を表現したデビューアルバム  
「Infinity～光の声～」  
国境、文化、人種の壁を超え、幾重にも広がる世界の中で  
Rumeena の「無限の可能性」を秘めた歌声は  
人々の心にどのように届くのか……。